

# 高山村 防災マップ



- 凡例**
- ① 避難所
  - ① 避難地
  - Ⓜ トイレ
  - Ⓜ 温泉
  - 〒 郵便局
  - Ⓜ 小学校・中学校
  - Ⓜ 警察
  - Ⓜ 消防署
  - Ⓜ 神社
  - 土石流危険区域
  - 地すべり危険箇所
  - 急傾斜危険箇所

**■防災関係機関連絡先**

名称	住所	電話番号
高山村役場	大字高井4972	245-1100
高山村保健福祉総合センター	大字牧130-1	242-1200
須坂市消防本部	須坂市大字小山1306	245-0119
須坂市消防署高山分署	大字高井4609	248-0119
須坂警察署	須坂市大字須坂1725-1	246-0110
須坂警察署高井駐在所	大字高井3447-3	245-2349
須坂警察署山田駐在所	大字奥山田3520-4	242-2618
須坂建設事務所	須坂市大字須坂1699-11	245-1670

**■避難所の住所等**

番号	名称	住所	電話番号
①	高井農業者トレーニングセンター 高井コミュニティセンター	高山村大字高井689-1	026-246-3688
①	南部スポーツパーク	高山村大字高井689-1	
②	高山小学校	高山村大字高井3455	026-245-0594
②	高山小学校校庭	高山村大字高井3455	
③	高山中学校	高山村大字高井4575	026-245-0948
③	高山中学校校庭	高山村大字高井4575	
④	北部トレーニングセンター 青少年センター	高山村大字中山1990-1 高山村大字中山1987-1	
④	北部運動広場	高山村大字中山1985	
⑤	ふるさとセンター 高山村基幹集落センター	高山村大字奥山田1359 高山村大字奥山田1363	026-242-2146
⑤	ふるさとふれあい広場	高山村大字奥山田1363	

番号	名称	住所	電話番号
⑥	YOU遊ランド	高山村大字牧73-1	026-242-2210
⑥	YOU遊広場	高山村大字牧73-1	
⑦	カリヨンホール	高山村大字奥山田3681-18	026-242-2344
⑦	山田牧場スキー場	高山村大字奥山田3681-17ほか	
⑧	高井保育園	高山村大字高井468-1	026-245-6842
⑨	駒場公民館	高山村大字中山684-1	026-245-8398
⑩	高山村高齢者交流センター	高山村大字奥山田3517	026-242-2750
⑪	高山村牧地区農業生活改善センター	高山村大字牧1629-3	026-242-2440
⑫	高山村保健福祉総合センター	高山村大字牧130-1	026-242-1200
⑬	山田保育園	高山村大字中山4358-1	026-245-2170
⑧	山田温泉スキー場駐車場	高山村大字奥山田3681-1	



# 災害について

## 地震

### 地震の発生

日本列島は4枚のプレートの境界上にあり、海のプレートが、2枚の陸のプレートの下に潜り込んでいます。この複雑な構造のために、日本列島は世界有数の地震多発地帯になっています。

### 地震の種類

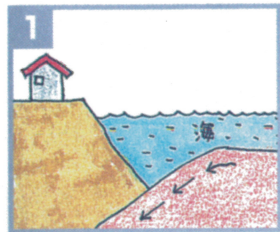
#### ●プレート境界型地震

海のプレートが陸のプレートの下に潜り込むとき、陸のプレートの先端が引きずり込まれ、ひずみが限界に達したときに、陸のプレートの先端が跳ね上がって発生する地震です。

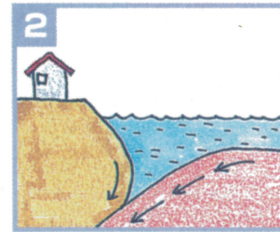
#### ●内陸地震

海のプレートと陸のプレートが互いに押し合うことによって、陸のプレート内部にひずみが生じ、ひずみが限界に達したときに岩石が破壊されて地盤に食い違いが生じることによって発生する地震です。

＜プレート境界型地震の発生：長野県災害ハンドブックから抜粋＞



海のプレートが陸のプレートの下に潜り込みます。



陸のプレートがの先端が引きずり込まれ、ひずみが生じます。



ひずみが限界に達し、陸のプレートの先端が跳ね上がり、地震が発生します。

## 土石流

山腹や川底の土砂や石などが、長雨や集中豪雨などによって水とともに一気に下流に押し出されるものを土石流といいます。流れの速さは、時速20～40kmもあるため、一瞬のうちに大きな被害となります。

### こんなときは注意!

- 山全体がうなるような音がる(山鳴り)。
- 川の水が濁ったり、流木が混じり始める。
- 雨が降り続けているのに、川の水かさが減り始める。



## 地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が地下水などの影響でゆっくりと動き出すものを地すべりといいます。広い範囲にわたって発生するため、住宅や交通路に大きな被害が出ます。

### こんなときは注意!

- 地面にひび割れができる。
- がけや斜面から水が吹き出す。
- 地面の一部が落ち込んだり、盛り上がったります。
- 井戸や沢の水が濁る。

## がけ崩れ

地中に染み込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震の影響で斜面が崩れ落ち、土砂が斜面下に流出するものをがけ崩れといいます。突然発生するため、人家の近くで発生すると逃げ遅れなどで大きな被害が出ます。

### こんなときは注意!

- がけから小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから音がする。
- がけから割れ目ができる。
- がけから水が湧いてくる。



# 雪害への備え

日ごろから雪害への対策を万全にしておきましょう。いざというときは、正しい情報を得ることに努め、早めの避難を心がけましょう。

## 屋根の雪下ろしへの備えと家屋などの点検を

大雪になり、屋根雪下ろしが必要になると思われる場合、事前に家族や隣近所の人たちと相談しておきましょう。また、雪害などに備えて家屋などの点検を行い、雪の重量に耐えられるように補修しておきましょう。

## 正しい情報を

大雪が心配されるときは、テレビ、ラジオ、行政の広報などから正しい情報を得ることに努めましょう。また、被害が起きそうなどときには、隣近所の人から必ず情報を伝えてもらうように、日ごろからお願いしておきましょう。

気温の高いときには、なだれが起きることがあります。特に、大量の雪が降ったときや、暴風雨やドカ雪の最中や直後、または気温が急上昇したり、大雨が降ったときなど、なだれがおきやすくなります。天気予報にも注意しましょう。

## 早めの避難を

行政からの避難の勧告が出たり、危ないと感じたときには、隣近所と連絡をとりながら早めに避難しましょう。避難の指示が出たときには、必ずその指示に従いましょう。

## 電気、電話などが止まる

雪がライフライン施設などに付着して電気・電話などに被害が出ることもあります。私たちの暮らしを支える電気や電話などが、一時的に使えなくなり、日常生活が通常どおり行えなくなる場合もありますので、いざというときのための対策と準備をしておきましょう。

また、雪の重みで、LPガスのボンベやホースが壊れ、ガス漏れが起こることがありますので、十分注意しましょう。

## 危険な場所の点検

急な斜面や崖地、特に斜面に平行に(横から)風が吹くところ、標高の高いところ、植木の少ないところ、河川の堤防のそばなど、家のまわりの危険な場所を点検し、日ごろから気をつけておきましょう。

## 安全3か条

### 作業は複数で行いましょう

複数で作業をすれば、ハシゴを支えてもらったり、事故が起きた場合にも迅速な救助が可能になります。実際の事故事例からも、ハシゴを支えてくれる人がいればハシゴが滑ることなく転落を防げたケースや、事故発生を早期に気づいて対応できたケースが多く見受けられます。



### 滑り止めをつけましょう

屋根はもちろん、ハシゴや足元も滑りやすくなります。履物やハシゴが滑ったことによる事故事例のほとんどが、履物やハシゴに滑り止めをつけていませんでした。長靴やハシゴに縄を巻くのも先人の知恵と言えます。



### 命綱をつけましょう

もし誤って滑った場合でも、転落を防いでくれるのが命綱です。転落事故事例も、命綱をつけていなかったため転落した人がほとんどです。



## 雪崩危険箇所